

| | |
|-------|---|
| 会議名 | 第3回港区産前産後家事・育児支援利用時間数管理システムの設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者選考委員会 |
| 開催日時 | 令和7年3月13日（木曜日）午後1時30分から午後2時25分まで |
| 開催場所 | 子ども家庭支援センター多目的室 |
| 委員 | 子ども家庭支援部長 中島 博子（委員長） 子ども家庭支援部子ども家庭支援センター所長 石原 輝章（副委員長） みなと保健所健康推進課長 土井 重典（委員） 子ども家庭支援部子ども政策課長 西川 杉菜（委員） 児童相談所児童相談課長 中島 由美子（委員） |
| 事務局 | 子ども家庭支援センター子ども家庭サービス係 |
| 会議次第 | 1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 5 その他 6 閉会 |
| 配付資料 | 資料1 第二次審査実施概要 資料2 第二次審査採点基準表（1事業者分） 資料3 第一次審査・第二次審査集計結果（※採点終了後、机上配布） 資料4 第2回選考委員会議事録概要 参考資料1 第一次審査集計結果 参考資料2 事業候補者選考基準 参考資料3 仕様書（案） |
| 会議の内容 | |
| C委員 | <p>【1 開会】 （事務局より配布資料の確認）</p> <p>【2 第一次選考結果について】 （事務局より資料1について説明）</p> <p>【3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施】 （A事業者のプレゼンテーション）</p> <p>様式6の裏面に「CSVでの対応が可能かどうか要相談」とあるが、既にシステム導入している7自治体で、CSVで対応できなかったという経験はあるか。</p> |

| | |
|------|---|
| A事業者 | 特にない。現行のツールからのデータ移行は港区が初めてであるが、他自治体で申請の部分を別サービスで受付、その申請データをCSVに落として本システムにインポートをしている。その際、CSVのレイアウトは決まっておらず、柔軟に対応できる。港区の仕様書はエクセルデータの表記だったので、CSVに戻してもらえれば相談可能である。 |
| C委員 | 様式10について、他自治体で提案にあるような総合的なシステムを導入している実績はあるのか。 |
| A事業者 | 他社と協業しているが、ポータルアプリを提供している。住民IDを登録して、ポータルアプリの中でそれぞれのサービスをダウンロードして利用いただくという実績がある。 |
| C委員 | これは色々なシステムのアプリをつなげるものか。 |
| A事業者 | <p>ポータルアプリの全体のアプリとしては、弊社は協業をしているが、弊社が作成しておらず、中の子育てアプリや予約であるとか、今回提供する産後ケア事業ですとか産前産後の家事支援という、1個ずつのコンテンツアプリを弊社は提供している。</p> <p>例えば防災アプリであるとか、ごみ出しアプリであるとか、ポータルアプリの中の1つのパズルのピースとしては、活用いただける。我々はその一部の子育て分野を提供して、残りの分野に関しては、今利用いただいているアプリをそのまま使っていただくことは可能である。</p> |
| D委員 | 様式9のサポート体制に関して、他自治体の業務を受け持っている中で、港区にどの程度のリソースを割いてもらえるのか。 |
| A事業者 | 様式6の保守・運用にある運用保守サポートチームが対応する。港区専属というのはリソース上難しいが対応させていただく。営業部側でも対応する。 |
| D委員 | 操作説明会は、運用後もこのイメージで対応してくれるのか。 |
| A事業者 | 基本的には運用後もこのイメージでやらせていただきたい。また、操作説明会のやり方だが、事業者数が多いため、なるべくならまとめてやらせていただきたい。対面なのかオンラインなのか、何回行うのかといったところは特に制限は設けてはいない。 |
| D委員 | 障害発生時のヘルプデスクは港区のために別途作るのか。 |

| | |
|------|---|
| A事業者 | 先ほど説明した部署を含めて営業部で対応する。 |
| D委員 | 場合によっては18時を超える場合もあると思うが、臨機応変に対応いただけるのか。 |
| A事業者 | 区や事業者の営業時間もあるかと思う。翌日対応なのか土日は週明け対応なのかは、事前に区とルール化したい。 |
| E委員 | 様式7について、「ホームヘルパー利用優先後にドゥーラ利用」とあるが、2つのサービスを併用したり、年齢による上限時間など、細かい決まりがある中での対応は可能か。 また、途中で上限時間の変更があったときでも対応は可能か。 |
| A事業者 | 理解が間違っていたら訂正させていただくが、総合した時間の中でどちらのサービスを優先的に利用するかといったところは、対応可能である。 また、上限時間の変更など、クーポンの定義が変わった際でも、年度内だとしても切り替わりは可能である。即日というところが難しいので事前に相談してほしい。 |
| E委員 | 様式8について、区民の個人情報を取り扱うにあたり、社員の意識啓発や研修など、どのような取組を実施しているか。 |
| A事業者 | I SMSという認証を取得する際に、全社員に対して教育テストを実施する。入社時には個人情報保護の取り扱いの誓約書を取り交わす。他自治体の例だが、必要に応じて、事業ごとの誓約書をいただき、弊社側で会社並びに従事者の証明を提出している。 |
| B委員 | 様式7について、クーポンは時間数ということで管理するということだが、利用者によっては2時間利用される方、3時間利用される、4時間利用される方がいるが、クーポンというのはどのような設定になるのか。 |
| A事業者 | 何枚使うかという操作が必要になるので、利用者は事業者に対し、利用する前に何時間利用するか確認してもらう作業が必要になる。 |
| B委員 | オプションで申請からの手続きも可能とあるが、利用者はどういう手続きが必要になるのか。 |

| | |
|------|---|
| A事業者 | 申請のリンクを設け、弊社の申請サービスに飛び、条件を入力していただく。港区民であるなどの条件を入力していただくと、条件に該当しない方はソートして弾くことができる。申請が完了すると、管理画面に即時で申請者が反映される。他のツールを使うと、インポートなどの作業が発生するが、弊社の申請サービスを利用すると、承認などをシームレスに行うことができる。 |
| B委員 | 利用者のアンケートはどういったものか。 |
| A事業者 | イメージとしては満足度調査のようなものである。-googleフォームのようなイメージで、ある程度設定も変えることはできる。 |
| B委員 | 様式 10 の他事業への拡充ということで、ひとり親ホームヘルプサービスもクーポンのような作業になるが、拡充できるサービスは基本的にはクーポンを使うような事業なのか。そういったものではなくても拡充ができるのか。 |
| A事業者 | 基本的には回数扱いをさせていただいている。もともとは産後ケア事業だったが、他自治体からはタクシーチケットや1歳未満の条件で民間事業者を500円で利用できるようにしたい、といった声もあり、利用可能かと思っている。 |
| A委員 | 業務の兼務について、システム障害も起こりがちであり、事業者によっても理解度が異なるが、担当としては、どの辺を一番課題に感じているか。 |
| A事業者 | 初めの設定の部分は戸惑う部分が大いと思う。事業者や自治体の管理も必要となってくるので、事業説明会などしっかり時間を設け、説明した上で安心して運用していただく。 |
| A委員 | その他に何か課題に感じることはあるか。 |
| A事業者 | 運用していく上で、自治体や住民からも声をいただくとおっており、それに対してどこまで柔軟に対応できるかというところも重視していきたいと思っている。 |
| A委員 | 実際に担当されるとなると、どのくらいの業務数を掛け持つのか。 |
| A事業者 | 人によって異なるが、私は約 50 自治体ほど担当している。主担当でありながらも 1 人だけでは難しいので、先ほど説明したサポートヘルプ体制や、何 |

| | |
|------|--|
| | <p>かあったときには開発部門と直にやらせていただく体制もある。港区からすると、本当に私たち受け入れても大丈夫かと思うが、他自治体で運用しており、ノウハウもあるので、安心してほしい。</p> |
| A委員 | <p>従業員数は128名とあるが、非常勤の方も含めての人数か。</p> |
| A事業者 | <p>128名のうち、7割ぐらいが開発であり、大体がフルリモートだが全て正社員である。残りの3割ぐらいのうち、3分の1ぐらいが営業、3分の2ぐらいがサポート体制となっている。</p> |
| A委員 | <p>御社の魅力はなにか。</p> |
| A事業者 | <p>子育て中心としたサービスを展開しているが、そこだけではなく、その子どもが成長した後も継続的に使っていただけるようなサービスを随時更新している点が一番の魅力である。</p> <p>(A事業者退出)</p> <p>(採点)</p> <p>【4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について】 (事務局より資料3について説明)</p> |
| 委員長 | <p>審査に当たり、評価したポイントなど、各委員から順番に講評をお願いします。</p> |
| C委員 | <p>すでに他自治体で導入しており、提案の実現性は高いと思う。データ移行などの懸念点についても、結果として対応できるという安心感を会話の中で得ることができた。理解力も、営業の方の理解力も高いと思った。実現性や理解力といった点を高く評価した。</p> |
| D委員 | <p>全体的に事業者としては大丈夫だろうという認識である。理解・回答力について、内容として全くずれていないが、ちょっと回答は長めで冗長だったという印象であった。</p> |
| E委員 | <p>概ね安定的であると評価した。一番評価できると思ったのは、例えばCSVの対応のことや時間外の対応のことなど、出来ないかもしれないが、なるべく区が求めることに合わせた対応をしたいという姿勢を見せている点である。</p> |

| | |
|-----|--|
| B委員 | 港区での実績もあり、同類の事業を担っているということで安定した事業遂行が期待できると思った。実際に利用するところを想定すると、この事業を行う上で時間管理がものすごく大変であり、今回のプロポーザルをやった一番の目的がそこである。その点をよく理解されており、実現できるような提案になっていた。また、利用種別や年齢の切り換えとか、そういったところも臨機応変に対応できるということで、利便性もかなり高まり、区民にとっても区にとっても使いやすいシステムになると思われる。 |
| A委員 | 実績があるため業務を安定的に実行できると評価した。若い方が主担当になるとのことだが、バックアップ体制もしっかりしているので、業務を任せても大丈夫ではないかと思われる。発展性の部分についても、実現に向けて努力しそうな感じもあり、その課題もちゃんと理解しているところが見受けられた。 |
| 委員長 | 各委員の意見を総括する。 他自治体での実績も豊富なため、安定した業務遂行が期待できる。また、発展性についても、課題を理解し、区が求める内容に対応していくという姿勢が感じられた。 |
| 委員長 | 各委員から講評を踏まえての審査にあたっての意見交換ということだが、皆さんのそれぞれの意見を聞いて何かあるか。 (意見なし) |
| 委員長 | 意見交換を踏まえ、自身の採点について振りかえる時間を設ける。採点を変更する委員はいるか。 (変更なし) |
| 委員長 | それでは、A事業者を事業候補者として選定する。 【4 その他】 (事務局から今後の流れを説明) 【5 閉会】 (委員長より閉会の挨拶) |